

## ■札幌学院大が4年ぶりの勝利。第9節

第49回北海道学生選手権は第9節の22日、江別市の札幌学院大グラウンドで2部の最終戦を行い、札幌学院大が13-0で北海道科学大を下した。札幌学院大の勝利は、1部時代の2019年以来で4年ぶり。2部の最終順位は①東京農業大（2勝）②札幌学院大（1勝1敗）③北海道科学大（2敗）となった。第10節は10月29日、札幌・厚別公園競技場で1部の帯広畜産大-北星学園大、釧路公立大-室蘭工業大の2試合を行う。

札幌学院大が12人、北海道科学大が14人の少数精鋭同士の対戦となった。前半を0-0で折り返した第3Q5分、札幌学院大はQB仲上日陽（1年、東海大札幌高）からWR芝辻俊希（3年、神奈川・星槎国際高湘南）へ23ヤードのTDパスが決まり先制。札幌学院大は第4Q5分にも、再びQB仲上からWR芝辻へ23ヤードTDパスが通り、13-0とリードを広げた。北海道科学大はRB吉住忠丈（4年、北広島西高）、RB竹内連也（1年、札幌工業高）のランなどで攻めたが、要所で3本のパスインターセプトを喫して、反撃を封じられた。



札幌学院大の佐藤敏弘HCは、部員不足による2部降格、リーグ戦不参加の危機を乗り越えての勝利に「1勝を目標にリーグ戦に臨んだが、全員でフットボールを出来たのが勝因。4年生がチームをつないでくれ、これで少し前進できた。TDがこんなにうれしかったことはない」と喜びをかみしめた。主将のOL/DL市村脩渡（4年、富良野高）も「入部してから初めての勝利。うれしい。自分を信じてついて来てくれた同期と後輩に感謝したい」と感無量の様子。殊勲の2TDキャッチのWR芝辻は「3年間で初めてのTDなのでうれしかった。1年生QBの自信にもなると思う。来年は1部復帰に向けて頑張りたい」と決意した。一方、北海道科学大の主将OL/DL千葉悠太（4年、岩見沢西高）は「下級生に力が付いてきた。一冬越せば勝てるチームになる」と後輩たちに巻き返しを託した。